

学校等再編だより

～子どもたちのより良い教育環境を目指して～

第11号 令和4年10月14日 西伊豆町教育委員会 事務局

先川地区の地盤調査について

認定こども園及び小中一貫校の建設候補地である先川地区の地質調査が終了し、その結果、地盤に関しては地下 23m付近から地下 37m付近に建物の支持層となる強固な層があることが判明しました。

また、建設候補地付近に先川浄水場があるということで、地下水への影響につきましても調査が行われました。結果は、認定こども園や小中一貫校の園・校舎を建てた場合でも地下水への影響は低いと思われるということでした。加えて、建設の際に杭を打ち込んでも、浄水場の水源の濁りの誘因となる可能性も低いと判断されました。

こうした結果から、地盤に関しては先川地区に認定こども園及び小中一貫校を建設することは可能であると判断しております。今後、西伊豆町立文教施設等整備委員会に諮問し、先川地区が建設にふさわしい場所かどうかを総合的に判断していただく予定です。

西伊豆町立文教施設等整備委員会について

9月27日に令和4年度第1回西伊豆町立文教施設等整備委員会が開催されました。文教施設等整備委員会は、平成26年度から町内の幼稚園と保育園の在り方や小中学校の在り方について協議してきました。最近は、特に認定こども園と小中一貫校について話し合い、文教施設に関する意見集約の機関として大変寄与していただきました。

昨年度1年間開催されませんでしたでしたが、今年度は委員を刷新し、さらに諮問答申機関としてスタートしました。委員会は、各地区の区長代表4名、保護者4名、学識経験者4名、そして園長及び校長3名の15名で構成され、オブザーバーとして、2名の校長も参加しています。

協議の場では、事務局からの説明や質疑応答終了後に、星野町長から委員会に対して、「認定こども園及び小中一貫校の建設場所」について答申の依頼がありました。次回から本格的な話し合いに入る予定です。



【裏面に続く】

小学校先行統合の町の方向性について

文教施設整備に関する保護者懇談会（令和4年2月1日実施）の中で、保護者から「小中一貫校が開校する前に小学校を先行して統合する予定はないか」という質問が出されました。理由として令和4年度の入学児童数が田子小2人、賀茂小3人であり、1人でも多くの人数で学校生活を送らせたいということでした。

そこで、7月25日に保護者を対象に先行統合に関する意見交換会を実施しました。事務局では田子小と賀茂小の2校統合だけでなく、小中一貫校に向けて、仁科小を含めた3校統合も考えるべきと判断し、2校統合に加え3校統合のメリットやデメリットについて説明し、保護者の皆さんからご意見やご質問を受けました。後日アンケートを実施しましたが、結果は下記のとおりです。

さらに、8月30日に行われた文教施設整備事業に伴う説明会では、町長から「津波浸水想定区域内にある仁科小に3校を集めることは避け、多数の保護者が希望しているように、2校で統合して複式学級を1学級でも少なくしたい。そこで、賀茂小を使って田子小と賀茂小の2校統合を進めたい」という方針が示されました。それを受けまして、9月22日に行われた教育委員会定例会で協議された結果、提案された方針が認められました。事務局では、賀茂小を利用した2校先行統合のスムーズな実施に向けて、準備を進めていきます。

☆ 保護者アンケートの結果（令和4年7月26日実施）

Q1 小中一貫校建設前に既存小学校の先行統合を望みますか？

地区	望む	望まない	計
宇久須	31【84%】	6【16%】	37
安良里	14【88%】	2【12%】	16
田子	52【83%】	11【17%】	63
仁科	78【61%】	49【39%】	127
合計	175【72%】	68【28%】	243

※ 田子小・賀茂小学校区では80%以上が先行統合を望み、仁科小学校区では約60%が先行統合を望んでいる。

Q2 Q1で望むと回答した方に統合方法についてお聞きします。

地区	3校を統合	賀小と田小	計
宇久須	9【29%】	22【71%】	31
安良里	6【43%】	8【57%】	14
田子	13【25%】	39【75%】	52
仁科	56【72%】	22【28%】	78
合計	84【48%】	91【52%】	175

※ 田子小・賀茂小学校区では平均すると65%以上が2校統合を、仁科小学校区では70%以上が3校統合を望んでいる。